

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～35
世 界 史	36～53	地 理	54～61
数 学	62～63		

## 〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験開始後の科目の変更は認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
  - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に記入すること。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

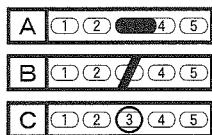
## 記入上の注意

- 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

大航海時代前のアフリカでは、紅海への入り口からアフリカ大陸の東海岸、そしてサハラ砂漠の西方で、海港都市や王国が興隆した。高原があり、人間と家畜を襲う熱帯病が少なかった紅海の西岸、現在のエチオピアにあたる地方では、古くから定住農耕が営まれ、紀元前後頃から [ ① ] 王国が存在した。この王国の王は、4世紀にキリスト教に改宗しそれを国教とした。さらに、軍事的遠征を行い、メロエを都としていた [ ② ] 王国を滅ぼした。この王国の繁栄を支えたのは、インド洋や地中海世界との交易であったが、7世紀以降はアラブ人の進出によって紅海の交易ルートを失い衰退した。また、アフリカ東岸ではムスリム商人のインド洋交易の拠点として海港都市が発達した。<sup>(A)</sup>

一方、サハラ砂漠の西方では、近隣のニジェール川流域に産する砂金と砂漠で採掘される岩塩の交易により7世紀頃から [ ③ ] 王国が栄えた。しかし、11世紀後半に、 [ ③ ] 王国の勢力拡張に危機感を抱いた北部のベルベル人が、 [ ④ ] 朝と呼ばれるイスラーム国家を建設し、 [ ③ ] 王国を攻撃したため、後者は衰退した。その後、ニジェール川流域の都市トンプクトゥを中心に [ ⑤ ] 王国がおこり、14世紀前半の国王 [ あ ] の時代に最盛期を迎え、彼は大量の金を持ってメッカに巡礼した。15世紀後半になると、都市ガオを [ ⑤ ] 王国の支配から解放した [ ⑥ ] 人が王国を樹立し、 [ ⑤ ] 王国に代わって西アフリカを支配した。この [ ⑥ ] 王国は16世紀前半に最盛期を迎えたが、16世紀末にサアド朝モロッコ軍によって攻撃を受け壊滅した。

このモロッコ軍が [ ⑥ ] 王国を攻撃し、サハラの交易ルートと岩塩採掘地を直接支配しようとした背景には、ポルトガルのアフリカ西岸進出があった。これは、ムスリム商人の交易を基盤とするアフリカの経済活動と諸王国形成に大きな変化をもたらした。ポルトガル王ジョアン1世の王子エンリケは、1415年にならずにはアフリカ西北端にありジブラルタル海峡に面した港市 [ ⑦ ] を攻略した。

そして、アフリカ西岸の探検航海を繰り返し、1460年には現在のシエラレオネの地域まで到達した。その後、ジョアン2世がこの探検事業を引き継ぎ、1480年代に彼の派遣隊はギニア湾に到達し、現在のナイジェリア西部にあった  王国と接触した。ここから、海路でのヨーロッパとの直接交易が始まった。

ヨーロッパ人の進出によって、西アフリカの政治・経済構造は大きく変化した。従来は北アフリカと結びつき、ムスリム商人を介するサハラ交易が主要だったが、ヨーロッパ人相手の大西洋交易が主流となったのである。この結果、交易の中心地はニジェール川沿いのサバンナ地帯から南部のギニア湾沿岸地方に移った。ポルトガルに続いて、16世紀に入るとオランダ、さらに17世紀にはイギリス、フランスもアフリカとの大西洋交易に進出した。カリブ海やアメリカ大陸のプランテーションでの奴隷の需要が増すにつれて、ヨーロッパ諸国は大量の鉄砲を現地の国王に送り、国王はその見返りに奴隷を出荷するようになった。このような交易によって、 王国の他、黄金海岸の内陸部森林地帯にあった  王国や、その東にあってフランスと交易した  王国などの勢力が拡大した。その後、19世紀末から20世紀にかけての列強によるアフリカ分割の際に、 と  はイギリスに、 はフランスによって植民地化された。

大航海時代の到来は、アフリカ南部と東海岸にも大きな変化をもたらした。15世紀末に喜望峰を回る航路を発見して以降、ポルトガルはアフリカ南部のケープ地方を征服しようとし、さらにはアフリカ東海岸の海港都市にも圧力をかけた。ケープ地方の征服は、先住民であるコイコイ族との戦争に敗れ失敗に終わったが、17世紀に入ってポルトガルからインド航路の覇権を奪ったオランダ東インド会社が、ケープタウンをインド航路の寄港地にすべく、1652年に補給基地を建設し始めた。そこには、オランダから新しい土地を求めて農民が移住したので、これによってアフリカ南部はオランダの移住植民地という性格を帯びることになった。しかし、その後、オランダ本国が1795年に侵攻され、さらに  の弟がオランダの国王となったことに乗じて、イギリスがケープ植民地を占領し、1815年  会議でケープ植民地はイギリスに割譲された。新たなイギリス人入植者の増大に押されて、オランダ系のアフリカーナ(ブール人)は、北方に移住し、

## 世界史

共和国と  自由国を建国した。しかし、1867年に  自由国内のキンバリーでダイヤモンドが発見され、さらには1880年代に  共和国内で金鉱脈が発見されたことにより、19世紀後半にイギリスが併合を企て、ブル人<sup>(B)</sup>とイギリスの対立が激化した。

19世紀に入って一部のヨーロッパ諸国は奴隷貿易を禁止したが、不況と低成長が続いた1870年代に、ヨーロッパ列強はアフリカを鉄道建設などの新たな資本投下の場所として位置づけ、競って進出した。この結果、第一次世界大戦までにはアフリカのほとんどの領域が彼らによって植民地化された<sup>(C)</sup>。これに対する抵抗としてアフリカ民族運動が起こり、1960年代には多くの国が独立を達成した<sup>(D)</sup>。しかし、植民地時代に形成された国境や政治制度、恣意的な人種の区別と差別などによって、いくつかの国では内戦が勃発した<sup>(E)</sup>。

問1 空欄  ~  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

### 〔語群〕

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| a アガディール | b アクスム     | c アシヤンティ |
| d ガーナ    | e カネム=ボルヌー | f クシュ    |
| g サモリ    | h ジンバブエ    | i スワヒリ   |
| j ズールー   | k セウタ      | l ソマリ    |
| m ソンガイ   | n ダホメ(ダオメ) | o タンジール  |
| p トーゴ    | q ヌビア      | r ベニン    |
| s マフディー  | t マラケシュ    | u マリ     |
| v ムラービト  | w ムワッヒド    | x モノモタパ  |

問2 空欄 あ ~ い にもっとも適した人名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| a アスキア=ムハンマド       | b アレクサンドル1世   |
| c イドリス=アローマ        | d サモリ=トゥーレ    |
| e セク=トゥーレ          | f ナポレオン=ボナパルト |
| g フランツ2世           |               |
| h マンサ=ムーサ(カンカンムーサ) |               |
| i ムハンマド=アフマド       | j レオポルド1世     |

問3 下線部(A)に関連して、アフリカ東岸の海港都市について説明した下記の(ア)~(ウ)にあてはまる都市名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- (ア) スワヒリ文化圏の北端に位置していた海港都市で、現在はソマリアに属する。15世紀に鄭和の艦隊が訪れた。
- (イ) 現在のケニア東岸にある海港都市で、鄭和の艦隊が訪れ、明に朝貢した。その後、ヴァスコ=ダ=ガマも寄港し、そこでインドに向けての水先案内人を雇った。
- (ウ) 現在のケニアの南端にある海港都市で、ムスリム商人の拠点として発達し、14世紀前半にはイブン=バットゥータも寄港した。16世紀末にポルトガル軍に制圧された後、ポルトガルの拠点となった。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| a アデン    | b キルワ   | c ザンジバル  |
| d ソファラ   | e マリンデイ | f モガディシュ |
| g モザンビーク | h モンバサ  |          |

## 世界史

問4 下線部(B)に関連して、1890年にケープ植民地首相となって周辺地域への侵略政策をとったのは誰か。あてはまる人名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |               |            |
|---------------|------------|
| a アスキス        | b グラッドストーン |
| c ジョゼフ=チェンバレン | d セシル=ローズ  |
| e デイズレーリ      | f ロイド=ジョージ |

問5 下線部(C)の際に、植民地化されなかった国は二つあるが、そのうちの一国について説明した次の文中の空欄  ~  にもっとも適した語を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

は、19世紀末の列強によるアフリカ分割期には、 の一部であった  を領有していたイタリア軍の侵入を撃退したが、1935年、再度侵略を開始したイタリアによって併合された。この侵略に対して国際連盟は経済制裁を加えたため、イタリアはすでに国際連盟を脱退していたドイツに接近していった。その後、1936年にドイツはラインラント進駐に際してヴェルサイユ条約と  条約を破棄し、翌年イタリアは国際連盟を脱退した。

[語群]

- |          |         |            |
|----------|---------|------------|
| a アルジェリア | b アンゴラ  | c ヴェルサイユ   |
| d エジプト   | e エチオピア | f エリトリア    |
| g 九カ国    | h ケニア   | i サン=ジェルマン |
| j ソマリランド | k チュニジア | l モロッコ     |
| m リビア    | n リベリア  | o ロカルノ     |

問6 下線部(D)に関連して、1960年までに植民地独立を認めなかった宗主国とその植民地の組み合わせで正しいものを以下の選択肢から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 宗主国ポルトガル—植民地ローデシア
- b 宗主国ポルトガル—植民地アンゴラ
- c 宗主国ベルギー—植民地モザンビーク
- d 宗主国ベルギー—植民地スーダン

問7 下線部(E)に関連した以下の説明はどここの国の内戦の説明か。あてはまる現在の国名を以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

この国は、19世紀にはドイツの、第一次世界大戦後はベルギーの植民地となり、当時のヨーロッパの人種思想に影響されて作為的に作られたツチ族とフツ族という「人種」区分を用いて分割統治された。前者に後者を支配させたため、独立後も両者の対立が続き、1990年には内戦状態となり、1994年に大量無差別虐殺が生じた。

- a ウガンダ                      b カメルーン                      c チャド
- d ナイジェリア                      e ルワンダ

問8 空欄  にあてはまる会議名を解答欄に記入せよ。

問9 空欄  と空欄  について、あてはまる国名をそれぞれ解答欄に記入せよ。

## 世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

14世紀から16世紀に、ルネサンスとよばれる文化運動が広まった。この運動は、フランス語で「再生」を意味し、古代ギリシア・ローマの文化を模範とする知識人たちによって推進され、理性や知性、感情の豊かさを尊び、中世の社会で抑圧されてきた自然な人間らしさをよみがえらせようとする人文主義の思想に基づいている。

ルネサンスの最初の舞台となったのは、古代ローマの伝統が強いイタリアであった。都市国家の繁栄と市民意識の高揚がみられた当時のイタリアでは、銀行業を成功させ、富を蓄積させたフィレンツェの  家、 のスフォルツァ家などが芸術のパトロンとして文化活動に積極的に取り組み、こうした権力者の保護下で多くの学者や芸術家が研究を続けた。この顕著な例が、15世紀に  家のコジモが開設したアカデミア＝プラトニカであり、多くの哲学者や芸術家を集めた知識人サークルを通じて、プラトンと新プラトン主義をめぐる議論、古代ギリシア思想の文献学的研究などが活発に行われた。<sup>(1)</sup>1453年に、オスマン帝国の  がコンスタンティノープルを占領し、ビザンツ帝国の滅亡によって多くの学者がイタリアに避難したことで、フィレンツェでも、こうした研究への熱意は高まっていたのである。このサークルには、サンタ＝マリア大聖堂の大円蓋を設計、完成させた 、人文主義者のフィチーノやピコ＝デラ＝ミランドラ、地球球体説を唱えた  などが名を連ねた。

実際に、フィレンツェを中心地として開花したイタリア＝ルネサンスでは、多くの分野で非凡な才能が開花した。<sup>(2)</sup>文学の分野では、早くからその文化が興隆する兆しを見せており、14世紀には、トスカナ語で『』を書いたダンテ、王侯や聖職者などを厳しく風刺した『』で知られるボッカチオが現れた。15世紀には、絵画の領域で、ボッティチェリが『』や「ヴィーナスの誕生」を制作した。この画家の作風は晩年に至って変化するが、ここには、15世紀末に  家の専横を激しく批判しルネサンス文化を「虚栄」として攻撃した、ドミニコ修道会の僧サヴォナローラの影響があると言われている。<sup>(3)</sup>ロレンツォの代に繁栄をきわめた  家は、1492年のロレンツォの死後に凋落し、



□ A □ 家の失脚期に神政政治を行ったサヴォナローラも教皇に破門されたのち、火刑に処せられ、フィレンツェの政治は混乱していった。

15世紀後半から16世紀前半の時期になると、レオ10世<sup>(4)</sup>などのローマ教皇たちが自らの居するローマを新たなルネサンスの中心地とすべく多くの芸術家たちを招き、町を活性化させた。多くの聖母子像によって知られる □ E □ は、ヴァチカン宮殿の壁画として、プラトンやアリストテレス、ソクラテスなどの古代ギリシアの賢人たちを描いた「アテネの学堂」<sup>(5)</sup>を制作した。<sup>(6)</sup> ミケランジェロは、システイナ礼拝堂の天井画である「□ 4 □」だけではなく、祭壇画の「□ 5 □」も描いた。この画家は、建築家の □ F □ や □ E □ などに続いてサン=ピエトロ大聖堂の大改築にも携わった。

盛期ルネサンスの「万能人」を体現したのが、レオナルド=ダ=ヴィンチである。□ ア □ の聖マリア=デレ=グラーツィエ教会に残した壁画の「□ 6 □」など、多くの傑作を残した天才画家は、天文学や物理学、解剖学などの分野でも才能を発揮した。精密な人体スケッチや飛行船の試作などは、科学や技術の発達<sup>(7)</sup>に向けられたダ=ヴィンチの広い分野への関心を表している。

問1 空欄 □ A □ ~ □ F □ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| a エラスムス  | b ギベルティ  | c コルネイユ   |
| d サルゴン1世 | e シトー    | f スレイマン1世 |
| g セリム1世  | h トスカネリ  | i ドナテルロ   |
| j ブラマンテ  | k ブルネレスキ | l ホルバイン   |
| m マサッチオ  | n メデイチ   | o メフスト2世  |
| p メランヒトン | q ラファエロ  | r ラブレー    |

## 世界史

問2 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |                       |         |
|----------|-----------------------|---------|
| a アテナ女神像 | b ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語 |         |
| c 愚神礼賛   | d 最後の審判               | e 最後の晩餐 |
| f 叙情詩集   | g 神曲                  | h 随想録   |
| i デカメロン  | j 天地創造                | k 春     |
| l ユートピア  |                       |         |

問3 空欄  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |       |         |
|----------|-------|---------|
| a ヴェネツィア | b シエナ | c ジェノヴァ |
| d ナポリ    | e ミラノ |         |

問4 下線部(1)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア プラトンは「人間は万物の尺度」という言葉によって、真理の基準は人間であり、普遍的・客観的な真理は存在しないとした。
- イ プラトン哲学は、イデアという基本的概念に支えられている。
- ウ プラトンは「哲人政治」を提唱した。
- エ プラトンは、アテネに哲学の学園であるアカデメイアを開設し、その学園名はアカデミーの語源となった。

問5 下線部(2)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア フィレンツェは主に毛織物業や金融業で繁栄し、最盛期にはトスカナ地方の大半を支配した。

イ ダンテはフィレンツェ貴族の出身であったが、皇帝党と教皇党の党派抗争に巻き込まれて、この町を追放された。

ウ フィレンツェ出身のモンテーニュは、懐疑精神を保ち、自己の内面を洞察したモラリストとして、その文学の先駆者となった。

エ フィレンツェの政治家・思想家であったマキアヴェリは、16世紀に『君主論』を書き、その中でイタリア統一の重要性を訴え、政治を宗教や道徳から切り離すべきだと述べた。

問6 下線部(3)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ドミニコ修道会はイタリア出身のドミニコが創設した。

イ ドミニコ修道会は異端派を激しく攻撃した。

ウ ドミニコ修道会は托鉢修道会である。

エ ドミニコ修道会はパリ大学における神学研究に貢献した。

問7 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア レオ10世は、ユリウス2世が開始したサン＝ピエトロ大聖堂改築を引き継いだ。

イ レオ10世は領邦教会制を定め、教会の支配を強めた。

ウ レオ10世は、サン＝ピエトロ大聖堂の改築資金のために贖宥状の販売を許可した。

エ ルターはレオ10世によって破門された。

## 世界史

問8 下線部(5)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア プラトンに学んだアリストテレスは、マケドニア王子アレクサンドロスの教育係を務めた。
- イ アリストテレスは『アガ멤ノン』を著した。
- ウ アリストテレスは、アテネで学園リュケイオンを開設した。
- エ アリストテレスの学派はペリパトス学派と呼ばれた。

問9 下線部(6)に関して、次のア～エのうち、説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ソクラテスはソフィストを批判した。
- イ ソクラテスは、対話を通じて「無知の知」に導く問答法を用いた。
- ウ ソクラテスの代表的な著作は『政治学』である。
- エ ソクラテスはペロポネソス戦争に参戦した。

問10 下線部(7)に関して、次のア～エのうち、ルネサンス期の天文学説に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア イタリアで学んだコペルニクスは地動説をとるにいたった。
- イ ジョルダナーノ＝ブルーノは地動説と汎神論を主張し、天動説を支持する教会に異端とされ、処刑された。
- ウ 宗教裁判で地動説の放棄を強いられたガリレオ＝ガリレイは『天球回転論』を著した。
- エ 天体観測の結果をもとに惑星の運行法則を発見したケプラーは「惑星の三法則」を理論化した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

「イノベーション論」の生みの親である経済学者ヨーゼフ＝シュンペーター(1883年～1950年)は、オーストリア＝ハンガリー帝国に生まれた。オーストリア・グラーツ大学教授、大蔵大臣、ビーダーマン銀行頭取、ドイツ・ボン大学教授などを歴任し、晩年はアメリカ・ハーバード大学教授として活躍した。両大戦に向かう激動の時代を生きたシュンペーターが見たのは、新結合によって創造的破壊(イノベーション)が生まれ、ドイツやアメリカの社会が変容していく様であった。

19世紀後半、と電気という新たな動力源が登場したドイツとアメリカでは、重化学や非鉄金属などの工業分野が発達した。とりわけ重化学工業は巨額の資本を必要とし、資本を提供する銀行と結びついた巨大企業が市場を支配しやすかった。例えばドイツでは、鉄鋼軍需によって成長したクルップ社が、異なる産業の企業群を単一資本のもとに統括するを形成した。またアメリカでは、ロックフェラー財閥が市場を独占し、ライバル企業を吸収・合併する形でを形成した。

シュンペーターは、巨大企業が支配する世界では、固定した技術、製品、組織を好むために革新が生まれず、むしろ社会主義運動が高まると論じた。実際、搾取する資本家に対抗するために、当時のアメリカでは労働運動の機運が高まり、アメリカ労働総同盟が1886年に成立している。1890年には反法の中心(1)的な法律のひとつとして法が制定され、不当な取引制限をもたらず資本結合や独占的行為を禁じたが、その後も独占形成は止まらなかった。

巨大企業が支配する固定的な世界から、新たな経済発展をもたらす原動力となるのがイノベーションである。そして、イノベーションの担い手としてシュンペーターが目にしたのが、企業家(アントレプレナー)であった。企業家は、銀行や資本家などの支援を受けつつ、新しい価値の創出に果敢にチャレンジしたのである。

また、当時のアメリカやドイツが国内統一されたことも、イノベーション活動の追い風となった。アメリカでは1865年に南北戦争が終結し、ドイツでは1871年(3)

## 世界史

にドイツ帝国が誕生したことで、政治的な統一が実現していた。そこに鉄道網が<sup>(4)</sup>整備されることで、生産拠点が集約化され、大量生産が可能になった。<sup>(5)</sup>この結果、アメリカやドイツでは、企業家によって様々なイノベーションが生み出され、人々の生活も大きく変容していったのである。

それでは、具体的にどのような企業家がイノベーションを起こしたのだろうか。電力分野では、ジーメンスによって電動機が、によって白熱電灯が実用化された。通信分野ではが電話機を発明後、アメリカに電話会社を設立した。また、は無線電信を発明し、1901年大西洋横断無線通信に成功した。このように現在の我々の生活の基盤となる事業が、この時代の企業家によって生み出された。

なかでも、モビリティの分野におけるイノベーションが後世に与えた影響は大きい。当時、自由度の高い移動手段として、馬に代わる自動走行の車が志向され、主要な技術革新がドイツで起こった。1870年に、ジークフリート＝マルクスが初めてで動く簡単な車を作った。は、1876年にオットーが作った機関を改良して二輪車や馬車にとりつけた。は四輪自動車を1886年に完成させ、1890年に会社を設立すると、メルセデス自動車の製造を始めた。さらに、1897年にはドイツの技術者によって内燃機関の改良が行われ、燃料消費の少ない機関の原理が発表された。

こうした企業家が数多くドイツに誕生したのは、19世紀後半から20世紀初頭にかけて行われた産学協同政策によるところが大きい。とりわけ、1888年から1918年までドイツ皇帝であったが、自然科学の振興に力を入れ、総合大学より一段低い地位におかれていた工科大学を、1899年に総合大学と同格にしたことは重大な影響をもたらした。

ドイツで登場した自動車が大衆化されたのはアメリカであった。それを主導したのは自動車会社である。シュンペーターは創設者のを企業家の典型例と考える。照明会社の技師であったは、夢を捨てきれず会社を辞め、自作の自動車でレースに出場していた。その後、資金援助を受けて1903年に自動車会社を設立し、安価な自動車の製作に取り組んだ。部品の互換性確保の他に、テイラーの科学的管理法の導入と、方式によ

って効率的な大量生産を実施した。その結果、1908年に発表された  車の価格は、1909年の約1000ドルから1925年には約300ドルにまで低下し、自動車は庶民に身近なものとなった。さらに、1914年には、従業員の賃金が当時としては破格の日給5ドルとなり、従業員の生活水準の向上をもたらした。大都会では大渋滞を引き起こすほどに自動車が普及し、「どの家の鍋にも鶏1羽を、どの家のガレージにも車2台を」と演説し、「永遠の繁栄」を約束した共和党の  が、1929年に第31代大統領として就任した。そのほかラジオ・冷蔵庫・洗濯機などの家電製品も普及し、アメリカでは大量生産・大量消費社会が形成されていった。<sup>(6)</sup>

その後、20世紀前半はさまざまな分野で重要な科学技術の発見、発明、解明が相次いだ。<sup>(7)</sup> こうした科学技術がベースとなって、イノベーションが加速していった。

問1 空欄  ~  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| a ヴィルヘルム1世    | b ヴィルヘルム2世  |
| c エディソン       | d カーネギー     |
| e クーリッジ       | f コッホ       |
| g ダイムラー       | h ハーディング    |
| i ビスマルク       | j ファラデー     |
| k フーヴァー       | l フォード      |
| m フランツ＝ヨーゼフ1世 | n フリードリヒ3世  |
| o ベッセマー       | p ベル        |
| q ベンツ         | r マイヤー      |
| s マルコーニ       | t モース(モールス) |

## 世界史

問2 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| a カルテル        | b クレイトン   |
| c コンツェルン      | d シャーマン   |
| e ジャスト=イン=タイム | f シンディケート |
| g 定置生産        | h トラスト    |
| i ベルトコンベア     | j ワグナー    |
| k A型          | l S型      |
| m T型          |           |

問3 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |         |      |
|--------|--------|---------|------|
| a ガソリン | b コークス | c 蒸気    | d 水力 |
| e 石炭   | f 石油   | g ディーゼル |      |

問4 下線部(1)に関して、次のア～エのうち、19世紀後半にドイツで起こった社会主義運動に関連する出来事の説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合にはオを選べ。

ア 1878年に制定された社会主義者鎮圧法では、社会主義的な政党・労働組合の活動を厳禁した。

イ 社会民主労働党(アイゼナハ派)はラサール派と合同し、ドイツ社会主義労働者党を結成した。

ウ ビスマルクは労働者を社会主義運動から切り離すために、災害、疾病、養老などの社会保険制度を整備した。

エ ベルリンで結成された第2インターナショナルでは、ドイツ社会民主党が主導的地位を占めた。



問5 下線部(2)に関して、次のア～エのうち、当時のアメリカ労働総同盟に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合にはオを選べ。

- ア 職能別組合主義の立場から未熟練労働者を排除した。
- イ 組合の政治闘争に反対し、労働条件の改善を目指す経済闘争を重視した。
- ウ 西部と南部を中心にポピュリズムと呼ばれる労働運動を起こした。
- エ ロンドン出身のユダヤ人、サミュエル＝ゴンパースによって結成された。

問6 下線部(3)に関して、南部と北部の対立激化は、19世紀に入ってアメリカが領土を拡大し、西部開拓を進める中で起きた。次のア～エのうち、当時のアメリカの領土拡大に関する説明として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合にはオを選べ。

- ア 神からの「明白な天命」であるとして、アメリカは西部開拓を正当化した。
- イ ジェファソン大統領はナポレオンからルイジアナを購入した。
- ウ ジャクソン大統領は先住民強制移住法を制定し、先住民にミシシッピ川以西への移住を強制した。
- エ 米英(アメリカ＝イギリス)戦争後に、米英の共同領有となっていた北米オレゴン地域は、1846年のオレゴン協定で米英国境が確定した。

## 世界史

問7 下線部(4)に関して、ドイツ帝国時代(1871～1918年)に起きた①～④の出来事を年代順に古い方から並べ替えたとき、適切な順番を以下の選択肢ア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |            |                  |
|------------|------------------|
| ① 再保障条約の消滅 | ② イタリアによる三国同盟の破棄 |
| ③ 新三帝同盟の失効 | ④ 第二次モロッコ事件      |

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| ア ①-②-③-④ | イ ①-③-②-④ | ウ ③-①-②-④ |
| エ ③-①-④-② | オ ③-②-①-④ |           |

問8 下線部(5)に関して、鉄道の普及は、イギリス人のスティーブンソンが開発した蒸気機関車ロコモーション号が、1825年に客車・貨車の牽引に成功したことが大きく貢献している。この時に走行した区間はどことどこの間か。以下のア～クの中から正しい地名を二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |            |          |           |
|------------|----------|-----------|
| ア オックスフォード | イ ストックトン | ウ ダーリントン  |
| エ バーミンガム   | オ ブリストル  | カ マンチェスター |
| キ リヴァプール   | ク ロンドン   |           |

問9 下線部(6)に関して、当時のアメリカでは大量生産・大量消費社会が形成される一方で、「不寛容の時代」と呼ばれる傾向が強まった。次のア～エのうち、その象徴的な出来事として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合にはオを選べ。

ア 1924年に成立した移民法では、日本以外のアジア系移民の流入が事実上禁止された。

イ 禁酒法により、すべてのアルコール飲料の製造・販売が全土で禁止された。

ウ サッコ・ヴァンゼッティ事件では、強盗殺人事件の容疑者としてイタリア系移民の無政府主義者2人に対し、証拠不十分のまま死刑が宣告された。

エ 第一次大戦後の外国人排斥の風潮に乗じて、クー＝クラックス＝クランが勢力を拡大した。

問10 下線部(7)に関して、次のア～オのうち、20世紀に起きた出来事として間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アインシュタインによる特殊相対性理論の発表

イ ノーベルによるダイナマイトの発明

ウ フレミングによるペニシリンの発見

エ ライト兄弟による有人飛行の成功

オ ワトソンとクリックによる DNA 二重螺旋モデルの確立